

「70歳還暦」で生涯現役の職場づくりへ

堀永殖産株式会社

平均年齢は60歳

みやま市にある堀永殖産株式会社は、栗の渋皮煮などを作っている食品加工会社で主にお菓子屋料理の食材として製造されています。

同社の従業員の平均年齢はほぼ60歳と、規模が100人以上の企業では福岡県内でも有数の平均年齢の高い会社です。

会社の定年は60歳ですが、健康状態がよく本人も働く意欲があり、会社もそれを認めた場合は雇用を継続しているそうです。

高齢者が戦力となれるような職場環境づくり

「もともと高齢者を積極的に雇用する考えがあったわけではありません。この地域で操業を続けていく中で、若い人たちは都市部に就職するので求人を出してもなかなか応募がない一方、高齢者が多数応募してきたので自然とこうなりました。今後、地方ではこういった企業が増えていくでしょうね」と堀永晋作社長。

高齢化が進む地域では、労働力を高齢者に頼らざるを得ないのが現状。しかし、同社ではむしろこのことをプラスにとらえ、高齢者が戦力となれるような職場環境づくりを目指しています。堀永社長は「高齢者が多いからと言って特段の取り組みはやっていません」とお話しされましたが、転倒防止のための滑りにくい床素材を



採用したり、照明設備を明るいものに変えたりと、高齢者が働きやすい環境づくりを実現。また、食事会や社員旅行などの社内行事を積極的に開催することで、従業員同士の絆づくりも大切にしています。

元気な60代、70代の方々

「自分たちが作ったものを買ってもらうためには、購買者を育てる必要があるのではないのでしょうか。海外に工場を建ててコストダウンが図れたとしても購買者がお金を持たないのでは物が売れなくなってしまいます。また一般的に使われている『60歳で還暦』という考えは人によっては引退勧告に思えるようです。だから私は“70歳還暦”という言葉を使っています。この考えなら60歳を過ぎても、まだまだ現役でいられます。彼らの力を生かせれば、海外に工場を移す必要はありません。」と堀永社長は力説します。

同社で働く60代、70代の方々は本当に元気で「70歳還暦」がぴったりの方々でした。



地域の高齢者が戦力です。



堀永殖産株式会社 プロフィール

- 所在地／みやま市
- 業種／製造業（食品加工）
- 会社設立年／1970年
- 高齢者雇用制度／60歳定年、一定の条件のもと99歳まで継続雇用